

「日本で最も美しい村」

を目指して

今年の広報さい一月号の「年頭のあいさつ」でも触れていますが、佐井村には、多くの素晴らしい地域資源があります。

私たちはこれらの人や農林水産資源および景観などを含む地域資源を守り育て、次の世代に残していくという責務と同時に、佐井村の魅力を改めて見つめ直し、それに気付き、その価値を共有していく必要があります。そして、自らの地域に誇りと愛を持ち、村内外にその魅力を発信し、交流人口の増加による地域経済の発展を推進していく必要があります。

その政策の一つとして、佐井村はNPO法人「日本で最も美しい村」連盟への加盟に向けた取組みを展開していきます。

日本で最も美しい村連合とは

- ・平成十年代半ば、平成の大合併として市町村合併が促進され、小さくても素晴らしい地域資源や美しい景観を持つ村の存続が難しくなってきた時期にあり、新たな「地域の星」を目指して、運動を開始
- ・美しい村連合は、フランスの素朴な美しい村を厳選し紹介する「フランスで最も美しい村活動」を範にとり、小さくても輝くオンリーワンを持つ農山村が、自らの町や村に誇りを持って自立し、将来にわたって美しい地域であり続けることをサポート
- ・平成十七年十月に七つの自治体が集まって発足し、平成二十七年三月現在、四十七町村七地域が加盟

美しい村連合の主な活動

- ・「日本で最も美しい村」の経済的価値を高め、社会発展を促す
- ・地域の魅力を発信し、交流人口の増加による地域経済の発展を推進
- ・地域資源の存在や発展のための事業
- ・連合サポーター企業による特産品開発や加盟町村の活動支援
- ・風景フォトコンテストの開催
- ・テレビ、新聞、雑誌、インターネットなどによる情報発信

加盟した「村」の活動は

- ・地域資源の存続、発展に継続的に取り組むこと
- ・町村の主な入口に、ロゴマークと「日本で最も美しい村」連合名の標識を設置すること
- ・加盟村が発行する定期刊行物、封筒、ポスターなどにロゴマークを使用すること
- ・定期総会、フェスティバル（臨時総会）などに参加すること
- ・連合のブランド価値を高めるための主催事業に積極的に参加すること



美しい風景を眺めながらのサイクリング大会（福島県・北塩原村）



美しい村連合発祥の地「北海道美瑛町」